

# 私たちの《基本的人権》を問う！

～憲法の理念\* 三原則の今、北海道・札幌での実際と民主的取り組み～

講座第6回

アイヌ女性の人権、  
中小業者の生活・権利



【趣旨】

- 日本社会は、戦後の「高度」経済成長の一方で国民生活/福祉は先進国でも下位状況に留まり、地域も公害・過疎や高齢化・都市過密化などを含めて格差・貧困が拡大しています。
- 市場競争や集権型・大企業優位の政治の中で、現実には様々な矛盾/特に女性・子ども・老人など社会的弱者の困難性が加速しており、地球環境対策と併せ人間本位の市民社会形成が待ったなしの21世紀的テーマです。
- これら各分野の現場状況や専門家分析を報告しながら打開方向を共有していくような場＝「講座」を企画しました。

\*日本国憲法：悲惨な第二次世界大戦後、戦争放棄・国民主権・基本的人権を柱に制定

講座：今後予定

シリーズ～「私たちの《人権》を問う！」

- ・2023年 1月下旬～2月中旬
- ・テーマ 1) 「国連/国際法と戦争」 (仮題)
- 2) 「ジェンダーの今」

■日時 2022年11月26日(土)  
13時:受付、13:30～16:30

■プログラム \*テーマ毎に小休止

13:30 開会、趣旨説明、紹介

13:50-14:50

**テーマ1** 「アイヌ女性の複合差別からの脱却をめざして」/多原さん

15:00-16:00

**テーマ2** 「地域経済の主役/中小業者の営業と生活・権利を守る 税制と税務行政との闘いなど」/三浦さん

16:10-16:25 全体交流 (or 主催者・会場説明)

16:30- 閉会、アンケートなど

■アフター 希望者交流タイム (軽飲食代:500円)

16:45-18:00 講師補足、参加者意見交換など

〈会場〉 北海道自由が丘学園月寒センター：住所下記

\*本施設は自然エネルギーを導入した《エコハウス》です



●講師プロフィール

\*多原 良子(たはら りょうこ)さん

鶴川町出身、札幌アイヌ協会/理事、一般社団法人メノコモシモンシ/代表、アイヌ食を守る女性の会/代表、03年アイヌ女性に初めてのアンケート調査を実施

\*三浦 泰裕(みうら やすひろ)さん

上富良野町出身、北海道銀行を経て民商運動に参加～旭川民商・道商工団体連合会/事務局長を歴任、北海道地域・自治体問題研究所/事務局長(11年・現職)

●進行 主催者スタッフ

- ・議事は概ね45-50分のレポート、10-15分程度質疑予定
- ・全体終了後、希望者にて交流タイム(18時終了)
- ・録画し後日希望者にご案内する予定です

〈会場〉 定員30名、状況をみながら衛生管理を励行  
常備/空気清浄機・加湿器・換気消毒+アクリル板・マカート<sup>®</sup>等

主催 NPO法人 北海道地域・自治体問題研究所 (道地域自治研)

(共催) 〒062-0901 札幌市豊平区豊平1条8丁目1-21 野村ビル TEL011-837-8261、FAX837-8262

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL011-858-1711、FAX858-1333

■会場 上記「自由が丘学園/月寒センター」3階、地下鉄東豊線「福住駅」4番出口から徒歩8分

■申込み 上記主催先、11月10日まで：TEL又はFAXにて、「自由が丘」メール：[codmokan@agate.plala.or.jp](mailto:codmokan@agate.plala.or.jp)

費用：資料代 ¥500円、駐車場はありません。(近隣有料 or 福住駅ヨークターパーク)